令和８年度　災害医療に関する情報伝達訓練　実施要領

１　内容及び目的

災害医療情報の収集、伝達等に関するシステム（EMIS）に基づき、情報伝達訓練を実施することにより、大規模災害等非常時における迅速的確な情報伝達体制の確認・検証を行う。特に、情報伝達のためのフォーマット及び情報伝達ルートの確認を行うことを目的とする。

２　訓練実施日時

令和８年１１月１０日（火）　１３時から１７時まで

※　被災想定は９時発災であるが、実働は１３時から。

３　訓練想定

（１）シナリオの概要

令和８年１１月１０日（火）９時、熊野灘沖を震源とするマグニチュード８．９の地震（過去最大クラスの南海トラフ地震）が発生し、四日市市、鈴鹿市では震度６強を観測するなど、県内各地で以下の震度を観測した。

震度７　　志摩市、南伊勢町、熊野市、御浜町ほか
震度６強　四日市市、鈴鹿市、津市、松阪市、伊勢市、鳥羽市ほか
震度６弱　桑名市、木曽岬町、東員町、菰野町、朝日町、
　　川越町、亀山市、伊賀市、名張市ほか
震度５強　いなべ市ほか

同日９時０３分、気象庁は地震の影響を受け、各種警報を発令。県内各地では、地震による揺れや津波、液状化、火災等により人的被害、建物被害が多数発生しているほか、道路施設等にも被害が発生している模様。津波浸水想定区域に指定されている市町では、住民の指定緊急避難場所への避難を開始。

同日９時０５分、三重県及び県内市町に災害対策本部が設置され、応急災害対策活動が開始された。

同日１３時、指定緊急避難場所への避難を実施した自治体より、各地方部（災害対策本部）へ津波浸水想定区域居住住民の避難完了が報告される。この時点からの情報収集及び伝達を開始。

※各地域共通の状況設定は以下のとおり。

①職員は災害医療対応において必要な人数が参集済であること。
②停電については復旧した（もしくは停電が起こらなかった）とし、各市町との通信手段が確立済であること。

（２）被害想定

本要領３　訓練想定（１）シナリオの概要より

詳細は三重県地震被害想定結果（令和８年３月）による。（別紙１参照）

４　訓練参加者（別紙２参照）

（１）「桑員地域災害医療対策部会」を構成する機関、構成員及びその関係機関

（２）「四日市地域救急医療対策協議会」を構成する機関、構成員及びその関係機関

（３）「鈴鹿亀山地域災害医療対策部会」を構成する機関、構成員及びその関係機関

（４）「伊賀地域災害保健医療対策会」を構成する機関、構成員及びその関係機関

（５）三重県四日市地域防災総合事務所

（６）三重県北勢福祉事務所

（７）三重県医療保健部

（８）三重県防災対策部

５　情報伝達訓練　実施手順

（１）訓練実施確認

訓練前日、情報伝達訓練の実施について、桑名保健所、北勢福祉事務所、四日市市保健所、鈴鹿保健所及び伊賀保健所は、各訓練参加機関等へ伝達する。

（２）訓練開始

訓練当日、行政機関は１３時をもって訓練開始とする。また、訓練参加者（主に医療関係者）は、９時～１４時までに、EMIS 入力を行うこととする。

（３）情報伝達

桑名保健所、四日市市保健所、鈴鹿保健所、伊賀保健所については、「災害時保健医療福祉活動支援システム（D24H)」を立ち上げ、保健所の被災状況を本庁へ報告する。

訓練参加者（参加医療機関、各市町）は、被災状況等について、各機関・所属組織の伝達ルートにより、参集、電話、FAX、E-mail、救急医療情報システム(EMIS)、三重県防災情報システム、防災行政無線等で報告する。報告を受けた機関は、情報の取りまとめを行い、医療情報は桑名保健所、北勢福祉事務所、四日市市保健所、鈴鹿保健所又は伊賀保健所へ、防災情報は各地域防災総合事務所へ報告する。また、各保健所は、各保健所において記録されたクロノロの画像を撮影し、EMIS 掲示板へ掲載。保健医療福祉調整本部（本庁）は掲示板を確認後、本庁での対応を検討する。

桑名保健所、北勢福祉事務所・四日市市保健所、鈴鹿保健所及び伊賀保健所は、１５時４５分までに「⑩－２【保健所等】地域保健医療福祉調整本部　現状分析と課題」を用いて、保健医療福祉調整本部（本庁）へ県への要請を伝達する。

桑名保健所、北勢福祉事務所・四日市市保健所、鈴鹿保健所及び伊賀保健所

は、当日１６時までに報告を受けた各地域の被災状況等を取りまとめのうえ、その情報を相互に共有するとともに、関係機関に対してフィードバックを行う。

また、桑名保健所、北勢福祉事務所・四日市市保健所、鈴鹿保健所及び伊賀保健所は、翌日１２時までに報告を受けた情報についても、あらためて関係機関にフィードバックを行う。

６　訓練実施結果報告

訓練参加者は、訓練実施結果及び訓練参加にあたっての意見、感想等について、訓練実施結果報告様式に記入し、報告する。

部会及び協議会構成機関は、その結果を桑名保健所、四日市市保健所、鈴鹿保健所又は伊賀保健所に報告する。

７　訓練中止

以下の場合は、訓練中止とする。

訓練前日までに発災またはタイムライン等により下記の災害が発生するおそれがある場合は、前日の 16 時までに連絡する。当日発災の場合は 9 時までに随時連絡するする。

訓練の中止を決定した場合は、桑名保健所、北勢福祉事務所、四日市市保健所、鈴鹿保健所及び伊賀保健所から、それぞれの属する部会又は協議会の構成団体に連絡する。（保健所→地域防災総合事務所→警察・消防・市町（防災担当課））

・県内に震度５弱以上の地震が観測されたとき
・南海トラフ地震臨時情報（調査中）（巨大地震警戒）（巨大地震注意）が発表されているとき
・県内に「津波」注意報・警報が発表されているとき
・県内にレベル３「大雨」、「土砂災害」、「氾濫」、「高潮」警報のいずれかが発表されているとき
・県内に「暴風」、「暴風雪」、「大雪」警報が発表されているとき
・桑名保健所、四日市市保健所、鈴鹿保健所、伊賀保健所及び各地域防災総合事務所が、気象状況やその他の事案の発生により訓練を中止すべきと判断したとき

三重県　地震被害想定（数値等）

三重県南海トラフ地震被害想定について（令和08年03月31日）　https://www.pref.mie.lg.jp/D1BOUSAI/845440078610001.htm
地震被害想定調査結果の概要（平成26年03月31日）　https://www.pref.mie.lg.jp/D1BOUSAI/84544007861.htm

（参照元）
・死者数【三重県南海トラフ地震被害想定（令和7年度版）】より
・重傷者数【三重県南海トラフ地震被害想定（令和7年度版）】より
・軽傷者数【三重県南海トラフ地震被害想定（令和7年度版）】より
・自力脱出困難者数【三重県南海トラフ地震被害想定（令和7年度版）】より
・要援助者・要捜索者数【三重県南海トラフ地震被害想定（令和7年度版）】より
・全壊・焼失棟数【三重県南海トラフ地震被害想定（令和7年度版）】より
・避難者数【三重県地震被害想定調査結果（平成25年度版）】より
・医療対応力不足数【三重県地震被害想定調査結果（平成25年度版）】より
・日常受療困難者数【三重県地震被害想定調査結果（平成25年度版）】より

定量評価

死者数【Ｌ１】

○【L1】過去最大クラス
○三重県全体で最も被害が大きくなるケース

概観
死者数は県全体で約29,000人と推計され、そのうち津波による死者が約28,000人で死者数の大半を占めています。

地域区分	市町名	今回想定結果								
		建物倒壊等	（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）	津波	（うち自力脱出困難）	（うち津波からの逃げ遅れ）	急傾斜地崩壊等	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
北勢	桑名市	約 20	－	約 400	約 10	約 400	－	－	－	約 400
	いなべ市	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	木曽岬町	－	－	約 10	－	約 10	－	－	－	約 10
	東員町	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	四日市市	約 70	約 10	約 100	－	約 100	－	－	－	約 200
	菰野町	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	朝日町	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	川越町	－	－	約 200	約 10	約 200	－	－	－	約 200
	鈴鹿市	約 30	－	約 100	－	約 100	－	－	－	約 200
	亀山市	－	－	－	－	－	－	－	－	－

「－」：わずか（５未満） 時期：冬・深夜 ※端数処理のため、合計が各数 値の和に一致しない場合がある。 ※早期避難率低の場合

【三重県南海トラフ地震被害想定（令和7年度版）】より

定量評価

重傷者数【L１】

○【L1】過去最大クラス
○三重県全体で最も被害が大きくなるケース

概観

重傷者は県全体で約2,300人と推計され、そのうち建物倒壊等による重傷者が約1,800人で全体の７割以上を占めています。

地域区分	市町名	今回想定結果						
		建物倒壊等	（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）	津波	急傾斜地崩壊等	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
北勢	桑名市	約 60	約 20	－	－	－	－	約 60
	いなべ市	－	－	－	－	－	－	－
	木曽岬町	約 10	－	－	－	－	－	約 10
	東員町	－	－	－	－	－	－	－
	四日市市	約 200	約 50	約 20	－	－	－	約 200
	菰野町	－	－	－	－	－	－	－
	朝日町	約 10	－	－	－	－	－	約 10
	川越町	約 10	－	約 10	－	－	－	約 10
	鈴鹿市	約 80	約 30	約 20	－	－	－	約 100
	亀山市	約 10	約 10	－	－	－	－	約 10

「－」：わずか（５未満） 時期：冬・深夜 ※端数処理のため、合計が各数 値の和に一致しない場合がある。 ※早期避難率低の場合

【三重県南海トラフ地震被害想定（令和7年度版）】より

定量評価

軽傷者数【L１】

○【L1】過去最大クラス
○三重県全体で最も被害が大きくなるケース

概観

軽傷者は県全体で約13,000人と推計され、そのうち建物倒壊等による軽傷者が約12,000人で軽傷者数の大半を占めています。

地域区分	市町名	今回想定結果						
		建物倒壊等	（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）	津波	急傾斜地崩壊等	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
北勢	桑名市	約 500	約 80	約 10	－	－	－	約 500
	いなべ市	約 50	約 10	－	－	－	－	約 50
	木曽岬町	約 40	－	－	－	－	－	約 40
	東員町	約 30	約 10	－	－	－	－	約 30
	四日市市	約 1,200	約 200	約 30	－	－	－	約 1,300
	菰野町	約 80	約 20	－	－	－	－	約 80
	朝日町	約 60	約 10	－	－	－	－	約 60
	川越町	約 70	約 10	約 10	－	－	－	約 80
	鈴鹿市	約 700	約 100	約 30	－	－	－	約 800
	亀山市	約 100	約 20	－	－	－	－	約 100

「－」：わずか（５未満） 時期：冬・深夜 ※端数処理のため、合計が各数 値の和に一致しない場合がある。 ※早期避難率低の場合

【三重県南海トラフ地震被害想定（令和7年度版）】より

定量評価

建物倒壊等による自力脱出困難者数【Ｌ１】

概観

建物倒壊等による自力脱出困難者は、県全体で最大約3,500人と推計されます。

○【L1】過去最大クラス
○三重県全体で最も被害が大きくなるケース

地域区分	市町名	今回想定結果
北勢	桑名市	約 100
	いなべ市	－
	木曽岬町	約 10
	東員町	－
	四日市市	約 500
	菰野町	約 10
	朝日町	約 20
	川越町	約 20
	鈴鹿市	約 200
	亀山市	約 10

「－」：わずか（５未満） 時期：冬・深夜 ※端数処理のため、合計が各数 値の和に一致しない場合がある

【三重県南海トラフ地震被害想定（令和7年度版）】より

定量評価

津波被害による要救助者数【L１】

津波被害による要捜索者数【L１】

○【L1】過去最大クラス
○三重県全体で最も被害が大きくなるケース

概観

津波による要救助者数は県全体で約7,900人、津波による要捜索者数は県全体で約29,000人と推計されます。

地域区分	市町名	津波による要救助者数	津波による要捜索者数
北勢	桑名市	約 800	約 400
	いなべ市	－	－
	木曽岬町	－	約 10
	東員町	－	－
	四日市市	約 200	約 200
	菰野町	－	－
	朝日町	－	－
	川越町	約 500	約 200
	鈴鹿市	約 60	約 200
	亀山市	－	－

「－」：わずか（５未満） 時期：冬・深夜 ※端数処理のため、合計が各数 値の和に一致しない場合がある。 ※早期避難率低の場合

【三重県南海トラフ地震被害想定（令和7年度版）】より

定量評価

全壊・焼失棟数【L１】

○【L1】過去最大クラス
○三重県全体で最も被害が大きくなるケース

概観

県全体で約55,000棟の全壊・焼失と推計され、そのうち津波による被害が約32,000棟で全体の5割以上を占めています。

地域区分	市町名	今回想定結果					
		全壊・焼失棟数					合計
		揺れ	液状化	津波	急傾斜地	火災	
北勢	桑名市	約 500	約 900	約 2,300	約 40	約 10	約 3,700
	いなべ市	約 20	－	－	－	－	約 20
	木曽岬町	約 50	約 100	約 90	－	－	約 300
	東員町	約 30	－	－	－	－	約 30
	四日市市	約 1,600	約 900	約 500	約 20	約 10	約 2,900
	菰野町	約 40	－	－	－	－	約 40
	朝日町	約 60	約 30	約 10	－	－	約 100
	川越町	約 90	約 100	約 1,300	－	－	約 1,500
	鈴鹿市	約 800	約 100	約 80	－	約 10	約 1,000
	亀山市	約 60	－	－	約 10	－	約 70

「－」：わずか（５未満） 時期：冬・深夜 ※端数処理のため、合計が各数 値の和に一致しない場合がある

【三重県南海トラフ地震被害想定（令和7年度版）】より

表 Ⅳ－１．１　過去最大クラスの南海トラフ地震における避難者数（冬夕発災）

地域区分	市町名	1日後			1週間後			1ヶ月後		
		避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外
北勢	桑名市	約 57,000	約 37,000	約 20,000	約 42,000	約 26,000	約 15,000	約 52,000	約 16,000	約 36,000
	いなべ市	約 70	約 40	約 30	約 5,400	約 2,700	約 2,700	約 6,400	約 1,900	約 4,500
	木曽岬町	約 6,600	約 4,400	約 2,200	約 5,100	約 4,400	約 700	約 6,400	約 1,900	約 4,500
	東員町	約 200	約 100	約 70	約 3,900	約 1,900	約 1,900	約 200	約 50	約 100
	四日市市	約 39,000	約 26,000	約 14,000	約 63,000	約 34,000	約 29,000	約 24,000	約 7,300	約 17,000
	菰野町	約 90	約 60	約 40	約 4,600	約 2,300	約 2,300	約 90	約 30	約 70
	朝日町	約 800	約 500	約 300	約 2,600	約 1,400	約 1,200	約 7,500	約 2,300	約 5,300
	川越町	約 12,000	約 8,000	約 4,100	約 6,400	約 5,200	約 1,100	約 12,000	約 3,600	約 8,300
	鈴鹿市	約 18,000	約 12,000	約 6,300	約 35,000	約 19,000	約 17,000	約 3,900	約 1,200	約 2,700
	亀山市	約 300	約 200	約 100	約 6,000	約 3,000	約 3,000	約 300	約 80	約 200
	（小計）	約 135,000	約 88,000	約 47,000	約 174,000	約 100,000	約 74,000	約 113,000	約 34,000	約 79,000

【三重県地震被害想定調査結果（平成25年度版）】より

1　医療対応力不足数

表 Ⅳ－４．１　過去最大クラスの南海トラフ地震における医療対応力不足数（冬深夜発災ケース）

二次医療圏	市町名	対応可能入院患者数	要転院患者数	重傷者数+病院死者数	対応可能外来患者数	軽傷者数	医療対応力不足数	
							入院対応	外来対応
北勢	四日市市	約500	約100	約100	約4,800	約1,100	－	－
	桑名市	約200	約90	約100	約1,400	約500	約20	－
	鈴鹿市	約300	約60	約70	約2,700	約700	－	－
	亀山市	約40	約10	－	約300	約90	－	－
	いなべ市	約80	約10	－	約700	約30	－	－
	木曽岬町	－	－	約40	約10	約50	約40	約40
	東員町	－	－	－	約200	約30	－	－
	菰野町	約40	約20	－	約300	約40	－	－
	朝日町	－	－	－	約30	約40	－	約10
	川越町	－	約10	約20	約20	約90	約30	約70
	（小計）	約1,100	約300	約400	約10,000	約2,700	約90	約100

※災害拠点病院及び災害医療支援病院が機能する場合

※市町間の医療搬送等は考慮していない

※対応可能入院患者数、対応可能外来患者数は、平成24年医療施設（動態）調査、平成24年病院報告、平成22年医師・歯科医師・看 護師調査等をもとに設定

【三重県地震被害想定調査結果（平成25年度版）】より

３　日常受療困難者数

表 Ⅳ－４．９　過去最大クラスの南海トラフ地震における日常受療困難者数（冬深夜発災ケース）

二次医療圏	市町名	日常受療困難者数（建物被害、火災被害による医療機能低下による）			
		計	入院	外来	出生
北勢	四日市市	約4,800	約500	約4,300	－
	桑名市	約3,600	約500	約3,100	－
	鈴鹿市	約2,200	約100	約2,100	－
	亀山市	約400	約30	約300	－
	いなべ市	約40	－	約40	－
	木曽岬町	約600	約90	約500	－
	東員町	約200	約30	約200	－
	菰野町	約200	約40	約200	－
	朝日町	約100	約20	約100	－
	川越町	約800	約100	約600	－
	（小計）	約13,000	約1,400	約12,000	－

※災害拠点病院及び災害医療支援病院が機能する場合

【三重県地震被害想定調査結果（平成25年度版）】より

【別紙2】

桑員地域

災害医療対策部会構成機関
桑名医師会　（※）
いなべ医師会　（※）
桑員歯科医師会　（※）
桑名地区薬剤師会　（※）
桑名市消防本部
桑名警察署
いなべ警察署
桑 名 市
いなべ市
木曽岬町
東 員 町
桑名地域防災総合事務所
桑名保健所

関係機関《EMIS入力》
三重北医療センターいなべ総合病院
桑名市総合医療センター
青木記念病院
桑名病院
もりえい病院
山崎病院
ヨナハ丘の上病院
長島中央病院
日下病院
大安クリニック
多度あやめ病院
北勢病院
大仲さつき病院
東員病院
青木内科
坂井橋クリニック
宮口内科循環器科
ウエルネス医療クリニック
もりえい病院附属湾岸さくらｸﾘﾆｯｸ
小塚産婦人科

関係機関
海南病院

四日市地域

救急医療対策協議会構成機関
四日市医師会　（※）
四日市歯科医師会（※）
四日市薬剤師会　（※）
県立総合医療センター（★）
市立四日市病院（★）
四日市羽津医療センター（★）
三重北医療ｾﾝﾀｰ菰野厚生病院(★)
四日市南警察署
四日市北警察署
四日市西警察署
四日市市消防本部
菰野町消防本部
菰 野 町
朝 日 町
川 越 町
四日市市
桑名保健所

関係機関《EMIS入力》
山中胃腸科病院
小山田記念温泉病院
みたき総合病院
富田浜病院
主体会病院
四日市徳州会病院
石田胃腸科病院
四日市消化器病センター
総合心療センターひなが
水沢病院
四日市腎クリニック
四日市道しるべ
くわな共立クリニック
佐藤クリニック
四日市レディースクリニック
二宮メディカルクリニック
おばたレディースクリニック
守屋レディースクリニック

関係機関
四日市地域防災総合事務所
北勢福祉事務所

鈴鹿亀山地域

災害医療対策部会構成機関
鈴鹿市医師会　（※）
亀山医師会　（※）
鈴鹿歯科医師会　（※）
亀山歯科医師会　（※）
鈴鹿亀山薬剤師会（※）
鈴鹿中央総合病院（★）
鈴鹿回生病院（★）
亀山市立医療センター（★）
鈴 鹿 市
亀 山 市
鈴鹿市消防本部
亀山市消防本部
鈴鹿警察署
亀山警察署
鈴鹿地域防災総合事務所
鈴鹿保健所

関係機関《EMIS入力》
高木病院
村瀬病院
鈴鹿厚生病院
鈴鹿さくら病院
亀山回生病院
塩川病院
鈴鹿病院
田中病院
白子ウィメンズホスピタル
鈴鹿医療科学大学附属桜の森病院
川口整形外科
鈴木レディースクリニック
宮崎産婦人科
みえ呼吸嚥下リハビリクリニック
しまむら外科内科
尾池整形外科
村瀬病院付属クリニック
鈴鹿クリニック

伊賀地域

災害保健医療対策会議構成機関
伊賀医師会　（※）
名賀医師会　（※）
伊賀歯科医師会（※）
伊賀薬剤師会　（※）
伊賀市立上野総合市民病院（★）
名張市立病院（★）
岡波総合病院（★）
伊賀警察署
名張警察署
伊賀市消防本部
名張市消防本部
伊賀市
名張市
伊賀地域防災総合事務所
伊賀保健所

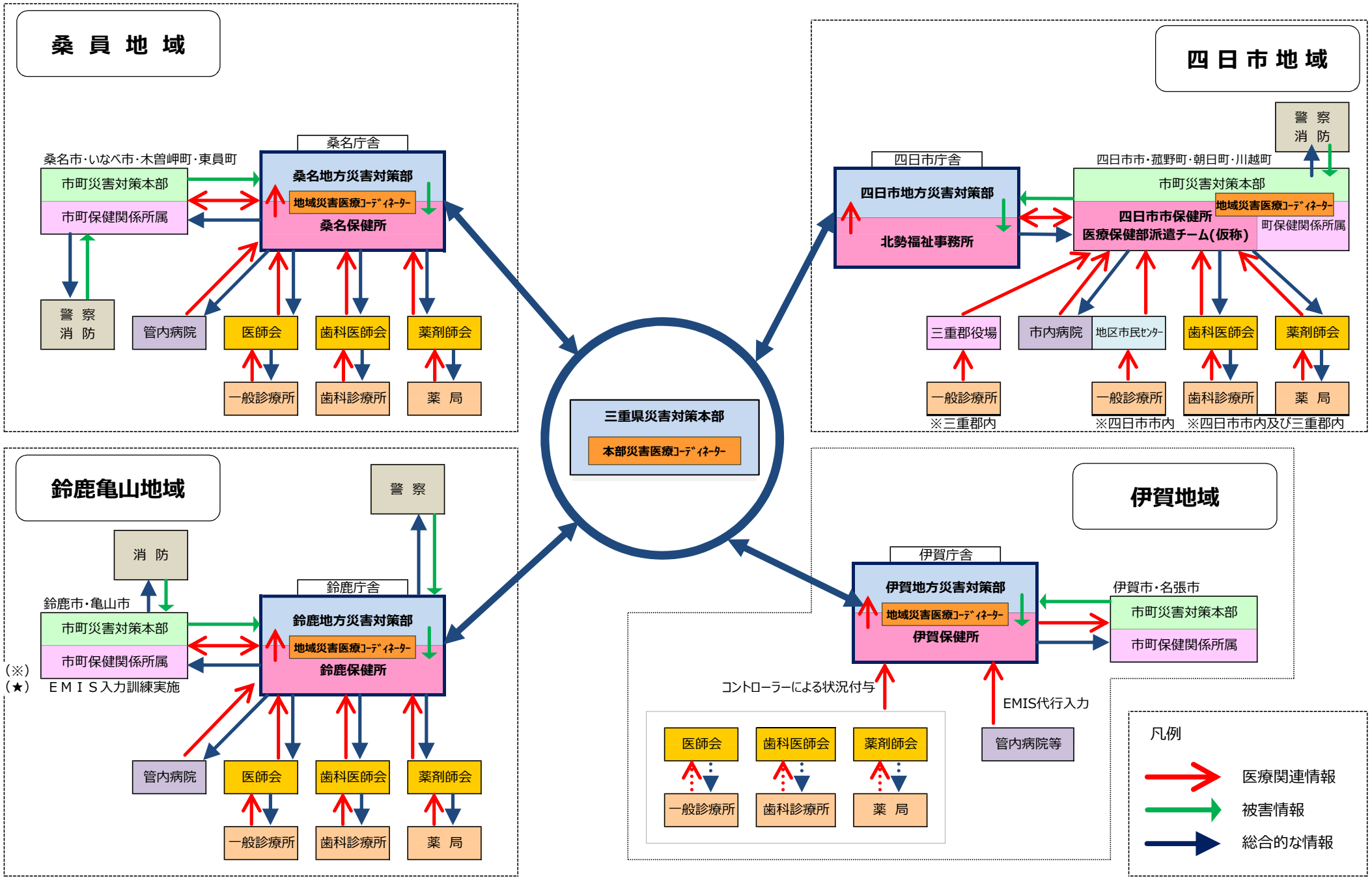
関係機関《EMIS入力》
上野病院
寺田病院
森川病院

関係機関《県庁》
医療保健総務課
医療政策課
薬務課

（※）　三師会については、事務局および会員

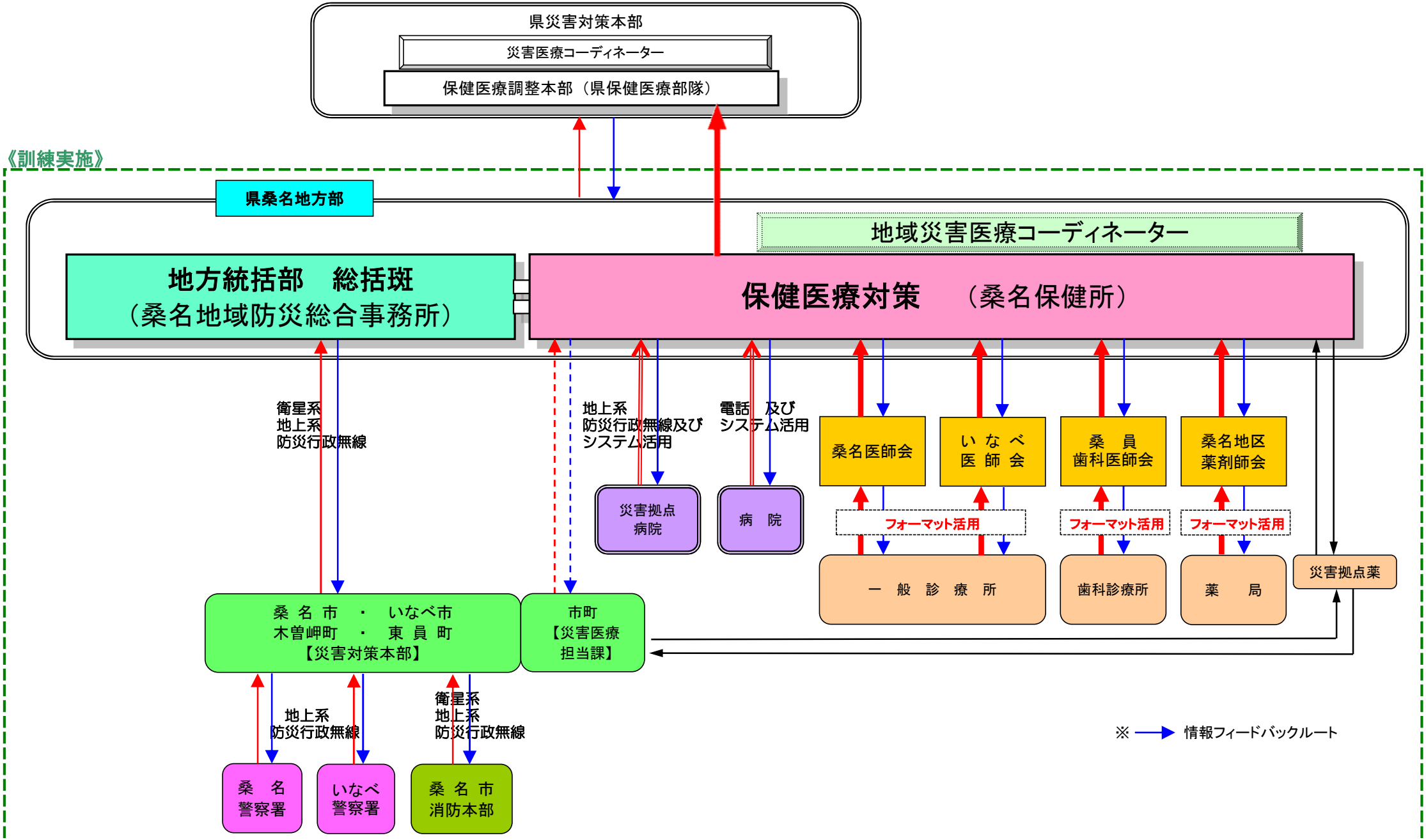
（★）　ＥＭＩＳ入力訓練実施

【参考：全体図】

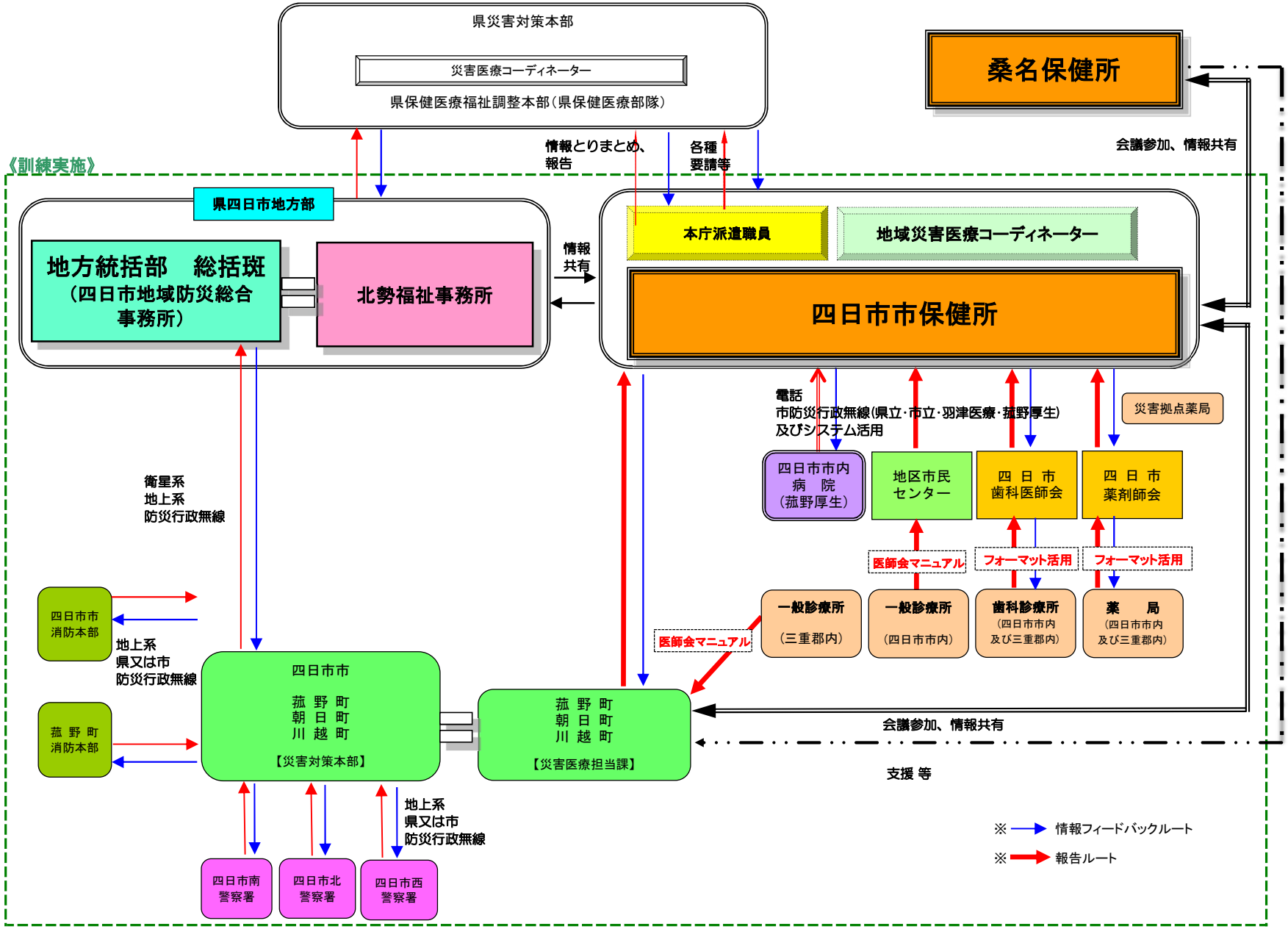

桑 員 地 域
桑名庁舎
桑名市･いなべ市･木曽岬町･東員町
市町災害対策本部
市町保健関係所属
桑名地方災害対策部
地域災害医療ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ
桑名保健所
警 察
消 防
管内病院
医師会
歯科医師会
薬剤師会
一般診療所
歯科診療所
薬 局
四 日 市 地 域
四日市庁舎
四日市地方災害対策部
北勢福祉事務所
警 察
消 防
四日市市･菰野町･朝日町･川越町
市町災害対策本部
地域災害医療ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ
四日市市保健所
医療保健部派遣チーム(仮称)
町保健関係所属
三重郡役場
市内病院
地区市民ｾﾝﾀｰ
歯科医師会
薬剤師会
一般診療所
歯科診療所
薬 局
※三重郡内
※四日市市内
※四日市市内及び三重郡内
三重県災害対策本部
本部災害医療ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ
鈴鹿亀山地域
警 察
消 防
鈴鹿庁舎
鈴鹿市･亀山市
市町災害対策本部
市町保健関係所属
鈴鹿地方災害対策部
地域災害医療ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ
鈴鹿保健所
(※)
(★) ＥＭＩＳ入力訓練実施
管内病院
医師会
歯科医師会
薬剤師会
一般診療所
歯科診療所
薬 局
伊賀地域
伊賀庁舎
伊賀地方災害対策部
地域災害医療ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ
伊賀保健所
伊賀市･名張市
市町災害対策本部
市町保健関係所属
コントローラーによる状況付与
EMIS代行入力
医師会
歯科医師会
薬剤師会
一般診療所
歯科診療所
薬 局
管内病院等
凡例
医療関連情報
被害情報
総合的な情報

【別紙2】

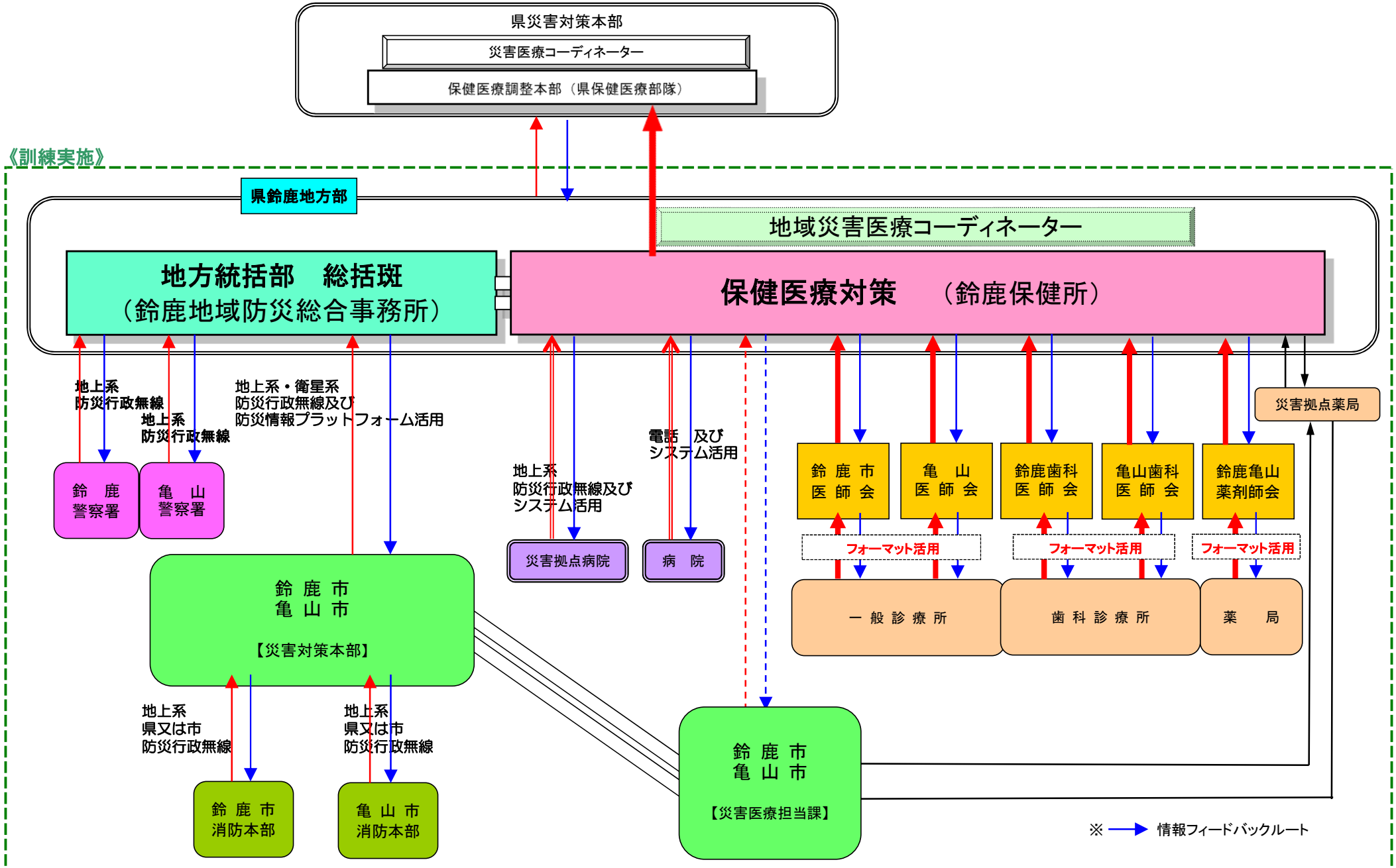
桑員地域　　災害医療に関する訓練　イメージ図



四日市地域　災害時の情報伝達ルート　イメージ図



鈴鹿・亀山地域　　災害医療に関する訓練　イメージ図



伊賀地域　　災害医療情報伝達訓練（案）　イメージ図

